



株主のみなさまには、平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、ここに当社第57期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)の
中間報告書をお届けし、事業の概況をご報告申し上げます。

取締役社長 **木下 和洋**

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、社会・経済活動の正常化を背景とした雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大などにより緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、不安定な国際情勢や為替変動による原材料・エネルギー価格の高騰、物価の高止まりによる消費マインド停滞など景気の下押しリスクにより先行きは不透明で厳しい状況が継続しております。海外において、米国では個人消費の拡大や設備投資、住宅投資などの堅調な内需に支えられ底堅く推移いたしました。中国では長らく不動産不況や消費マインドの冷え込みなどにより力強さを欠く状況で推移いたしました。また、東欧および中東における地政学リスクの長期化、貿易摩擦の深刻化などの懸念により世界経済の不確実性は依然として高い状態が続いております。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、急激な市況悪化による需要低迷から一部の製品においては需要回復に伴い市場環境が改善されているものの、産業機器向け部品では回復の力強さを欠き、加えて電気自動車(EV)需要の拡大ペース鈍化を背景とした車載向け部品での低迷長期化などの影響により市場ごとの需給バランスや在庫調整の状況にバラつきが見られ本格的な回復とまでは至っておりません。

このような情勢のなかで、当社グループの当中間連結会計期間の連結売上高は17,651百万円(前年同期比574百万円増、3.4%増)、営業利益は、原材料価格の高騰などがあったものの、前連結会計年度に実施した減損処理に伴う減価償却費の減少などにより539百万円(前年同期は営業損失789百万円)、経常利益は537

百万円(前年同期は経常損失646百万円)、親会社株主に帰属する中間純利益は479百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失657百万円)となりました。

当社グループの製品の種類別区分ごとの売上高であります。集積回路は、携帯情報端末向け部品や民生機器向け部品の受注が増加したことなどにより15,433百万円(前年同期比314百万円増、2.1%増)となりました。機能部品は、サーマルプリントヘッドの在庫調整が進展し受注が増加したことにより2,191百万円(前年同期比238百万円増、12.2%増)となりました。

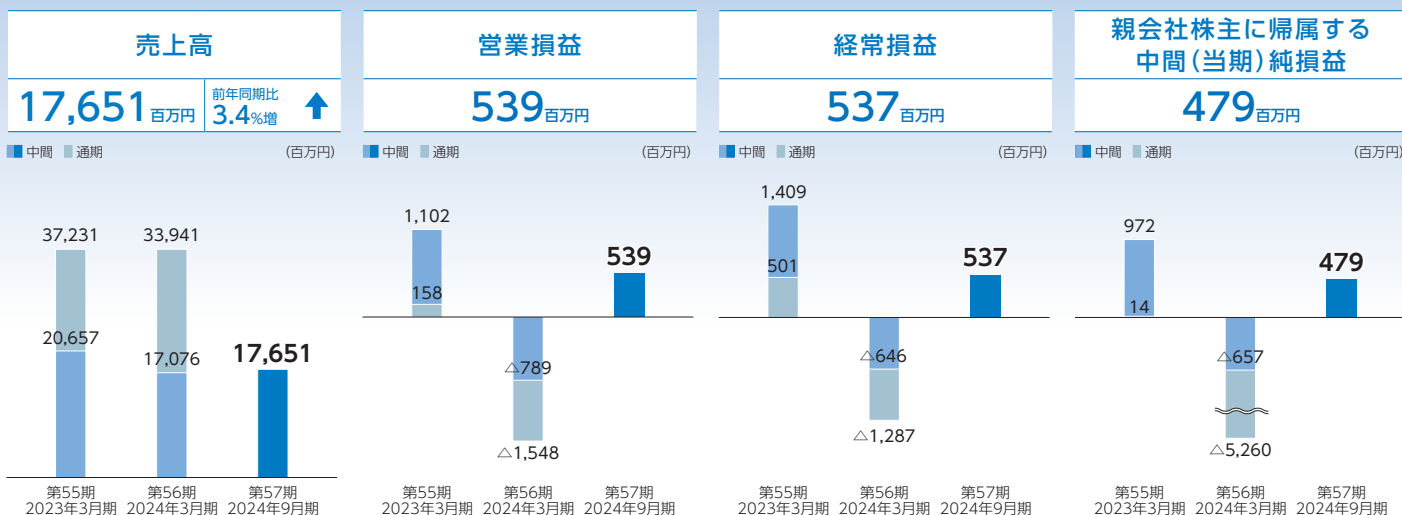
今後の見通しにつきましては、中国経済の低迷や地政学リスクの長期化、資源価格の更なる高騰などにより、先行き不透明な状況が継続するものと予測しております。また、当社グループの属する電子部品業界におきましては、AI関連半導体の需要拡大が期待されるものの、市場ごとの需給バランスの改善や市況の本格的な回復には時間を要すると予想されます。

そのような状況にあって、当社グループは、市場環境の変化を的確に把握し、生産性向上・効率化、徹底したコストダウンなどの取り組みを強化するとともに、高い成長性が見込まれる市場向けに積極的に経営資源を投下してまいります。

株主のみなさまには今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年12月

決算ハイライト



連結財務諸表(要旨)

○中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科 目	前連結会計年度末 2024年3月31日現在	当中間連結会計期間末 2024年9月30日現在
資 産 の 部		
流動資産	34,948,405	34,511,696
固定資産	15,185,837	15,961,405
有形固定資産	10,509,025	11,357,300
無形固定資産	117,174	113,793
投資その他の資産	4,559,637	4,490,310
資産合計	50,134,243	50,473,101
負 債 の 部		
流動負債	6,084,296	6,464,531
固定負債	888,518	763,574
負債合計	6,972,815	7,228,105
純 資 産 の 部		
株主資本	42,212,036	42,366,249
その他の包括利益累計額	949,391	878,747
純資産合計	43,161,427	43,244,996
負債及び純資産合計	50,134,243	50,473,101

○中間連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科 目	前中間連結会計期間 2023年4月1日から 2023年9月30日まで	当中間連結会計期間 2024年4月1日から 2024年9月30日まで
売上高	17,076,660	17,651,368
売上原価	15,774,402	14,874,361
売上総利益	1,302,258	2,777,006
販売費及び一般管理費	2,091,441	2,237,923
営業利益	△789,182	539,083
営業外収益	214,414	101,958
営業外費用	71,910	103,407
経常利益	△646,678	537,634
特別利益	61,627	321
特別損失	44,424	4,034
税金等調整前中間純利益	△629,476	533,921
中間純利益	△657,546	479,058
親会社株主に帰属する 中間純利益	△657,546	479,058

(注)△は損失を示しております。

会社概要

(2024年9月30日現在)

商 号 アオイ電子株式会社
設 立 1969年2月1日
本 社 香川県高松市香西南町455番地の1
従 業 員 数 1,589名(122名)
(注)従業員数は就業人員であり、契約社員は()内に年間の平均人員を外数で記載しております。
事 業 内 容 電子部品の製造販売
[集積回路] IC、光学センサー、
ウェハーレベルパッケージ、LED 等
[機能部品] プリントヘッド、各種センサー 等

役 員

(2024年9月30日現在)

取締役社長(代表取締役) 木 下 和 洋
常 務 取 締 役 福 田 一 幸
取 締 役 青 木 良 二(管 理 本 部 長)
取 締 役 相 沢 吉 昭(第 1 技 術 本 部 長)
取 締 役(常勤監査等委員) 古 田 昭 博
取 締 役(監 査 等 委 員) 森 糸 繁 樹
取 締 役(監 査 等 委 員) 北 山 昇
取 締 役(監 査 等 委 員) 橋 本 潤 子

(注)取締役 古田昭博、森糸繁樹、北山 昇および橋本潤子の4氏は、社外取締役であります。

株式情報

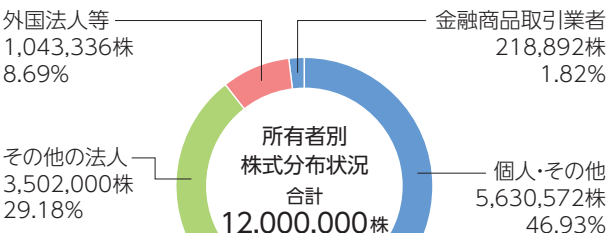
(2024年9月30日現在)

発行可能株式総数 40,600,000株
発行済株式の総数 12,000,000株
株 主 数 2,992名
資 本 金 45億4,550万円
大 株 主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
大西 以知郎	2,117千株	18.91%
公益財団法人 大西・アオイ記念財団	2,000	17.86
アオイコーポレーション有限公司	1,150	10.27
西澤 知佐子	794	7.09
株式会社三菱UFJ銀行	350	3.13
MSIP CLIENT SECURITIES	234	2.09
日亜化学工業株式会社	221	1.98
大西 曉子	209	1.87
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	173	1.55
明治安田生命保険相互会社	154	1.38

(注) 1. 当社は、自己株式を801,000株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



※個人・その他の中には自己株式(1名・801,000株)が含まれております。

執行役員

(2024年9月30日現在)

執 行 役 員 澤 本 修 一(半導体営業本部長)
執 行 役 員 多 田 光 徳(第 2 生 産 本 部 長)
執 行 役 員 中 尾 正 己(第 2 技 術 本 部 長)
執 行 役 員 福 濱 智 仁(第 1 生 産 本 部 長)
執 行 役 員 佐々木 祐 樹(第 1 生 産 本 部 製 品 技 術 部 長)

株 主 メ モ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
基 準 日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期 末 3月31日
中 間 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 事 務 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777(通話料無料)

公 告 方 法 電子公告
当社ホームページ
(<https://www.aoi-electronics.co.jp/>)にて掲載いたします。やむをえない理由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

単 元 株 式 数 100株

(ご注意)

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。